

No.52

2007年3月1日号

各チームの購読料はチ
ーム登録料に含まれてい
ます。定価(一部100円)

(社)熊本県サッカー協会だより

発行／(社)熊本県サッカー協会

〒860-0831
熊本市八王寺町9-60
TEL 096-334-5565
FAX 096-334-5568

発行者／©広報記録委員会
石丸 捷一

KIRIN CHALLENGE CUP 2007 ALL FOR 2010 日本代表惜しくもドロー 3トップ不発

2008年の北京五輪出場を目指すサッカーメンズU-22日本代表は2次予選開幕直前の21日、熊本県民総合運動公園陸上競技場で同米国代表との壮行試合「キリンチャレンジカップ2007」を行ない、0-0で引き分けた。これで反町ジャパンの国際試合(日中韓交流戦、アジア大会)通算成績は4勝3分け1敗となつた。

県内で五輪代表クラスのサッカーの国際試合が行われるのは初めてとあって、1万4007人のファンが詰め掛けた。

日本は前線に平山(FC東京)、カレン(磐田)、李(柏)を並べた3-4-3でスタート。4-4-2の米国に対し、立ち上がりは速いパスワークとカレンの個人技などで優位に立つたが、開始9分、平山が1対1からのシュートをGKに弾かれるなど逸機が続々、0-0のまま前半を終了する。

後半18分、平山のヘディング、同39分水野(千葉)のシュートもゴールポストに嫌われ、終始押し気味に試合を運びながら無得点に終つた。

米国はU-20メンバーセンターを含む新チームとあって連携はいまひとつ。ただ、フィジカルを生かした突破や緩急をつけたパス交換で狭いスペースを抜けてくる

動きや、自陣内での粘り強い守りには目を見張るものがあった。

1次予選免除の日本は4大会連続出場をかけて、2月28日の香港戦(東京・国立競技場)を皮切りに6月6日までマレーシア、シリアと全6戦の2次予選(ホームアンドアウェー方式)に挑む。二位以内が8~11月の最終予選進出。

最終予選は3グループで争い、各組一位が五輪本戦への出場権を得る。

U-22 日本代表 0-0 U-22 米国代表
△観衆 14007人

好機逃したエース

日本は決定的チャン

写真と文は熊日提供



攻める日本代表(青)米国は白

ゴール前攻める日本代表



平山がヘディングでゴールを狙う



キックオフ前から気勢を上げるサポーター

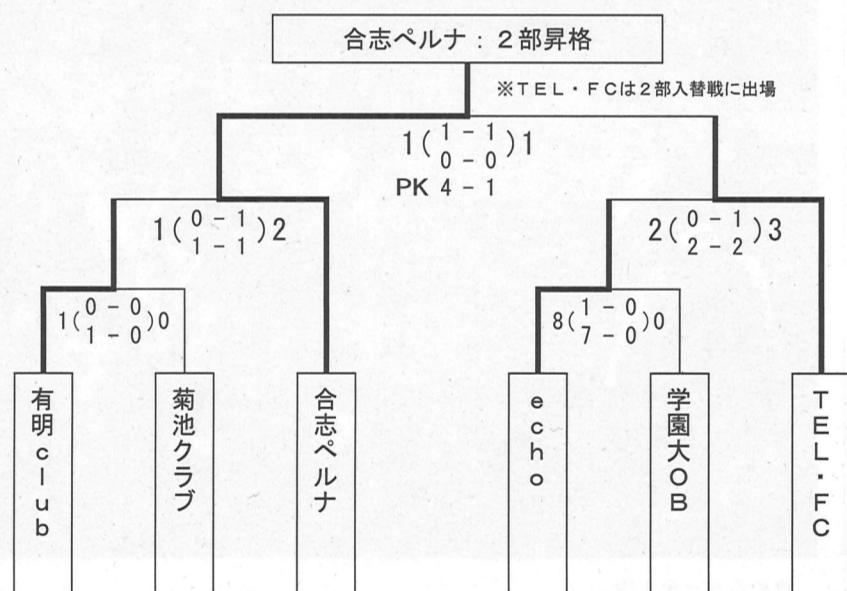
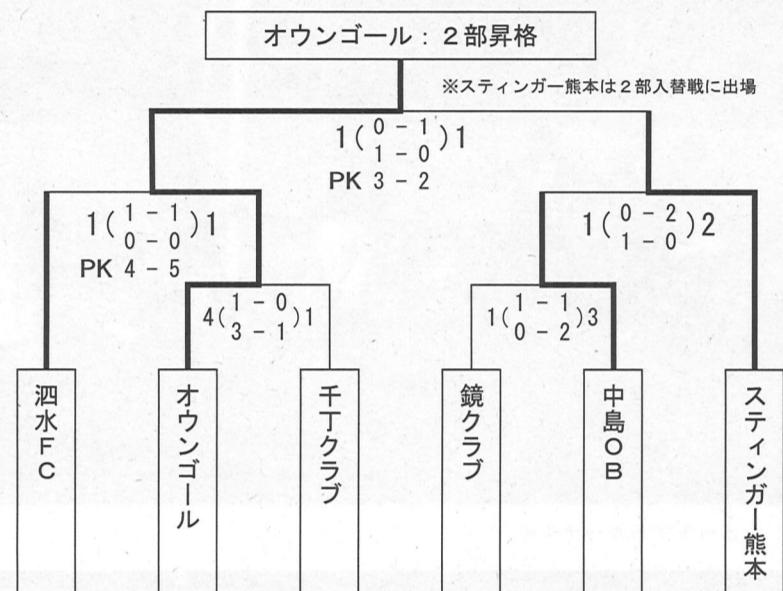


神村学園 1点を返す（決勝戦）



大津高校 1点追加する（決勝トーナメント）

平成18年度 第41回 熊本県サッカーリーグトーナメント結果



熊本県サッカーリーグ入替戦（2部）

松橋クラブ 1 $\begin{pmatrix} 1-1 \\ 0-0 \end{pmatrix}$ 1 フィールダーハ代

山鹿クラブ 2 $\begin{pmatrix} 1-0 \\ 1-0 \end{pmatrix}$ 0 スティンガー熊本

TEL・FC 3 $\begin{pmatrix} 2-0 \\ 1-0 \end{pmatrix}$ 0 マコーズ

竜北クラブ 1 $\begin{pmatrix} 0-0 \\ 1-1 \end{pmatrix}$ 1 熊本ドリフ

松橋クラブは2部残留、TEL・FCは2部昇格、山鹿クラブと竜北クラブは2部残留

熊本県サッカーリーグ入替戦（1部）

熊大理学部 1 $\begin{pmatrix} 0-0 \\ 1-0 \end{pmatrix}$ 0 小川クラブ

益城BW 2 $\begin{pmatrix} 0-0 \\ 2-0 \end{pmatrix}$ 0 バレアSC

熊大理学部
益城BWは
共に一部残留

第35回 熊本県中学校新人サッカーチャンピオンシップ

ルートル学院中学校 3年ぶり3度目の優勝

第35回熊本県中学校新人サッカーチャンピオンシップは、3月27日から2月4日に宇城市の観音山グラウンド等を会場に開催された。各地域の代表16チームが4グループの予選リーグを行い、決勝トーナメント進出の8チーム（坂瀬川・木山・阿蘇北・ルートル・京陵・大津・小川・玉名）を決定した。

大会第3日目に決勝トーナメント一回戦を行い、ルートル中学が3年ぶり3度目の優勝を飾った。

準決勝第1試合では、大津中と阿蘇北中が対戦し1対1の同点のまま延長に入り、延長後半に大津中がVゴールで接戦を制した。

準決勝の第2試合では、ルートル中と小川中が対戦し、4対1でルートル中の勝利。

決勝は前半8分にルートル⑩村上が左サイドからパスを受け、中央右から先制した。

同13分にはルートル中⑯辻が左サイドから持ち込み2点目を決める。

26分大津中はルートル志賀が右サイドを突破し⑪宇都宮が押し込み、2対1で前半を終了した。

後半はルートルがワイヤーで展開で両サイドを崩し、分厚い攻撃で快勝する。

月26日から28日島原市で行われる九州大会へ。

Aグループ：観音山G

	坂瀬川	木山	袋	氷川	勝点	勝	分	敗	得点	失点	得失点差	順位
坂瀬川	☆	○ 2-1	△ 1-1	○ 1-0	7	2	1	0	4	2	+2	1
木山	● 1-2	☆ 3-1	○ 1-0	○ 1-0	6	2	0	1	5	3	+2	2
袋	△ 1-1	● 1-3	☆ 1-1	△ 1-1	2	0	2	1	3	5	-2	3
氷川	● 0-1	● 0-1	△ 1-1	☆ 1-1	1	0	1	2	1	3	-2	4

Bグループ：竜北中G

	ルートル学院	阿蘇北	南関	米野岳	勝点	勝	分	敗	得点	失点	得失点差	順位
ルートル学院	☆	△ 1-1	○ 4-0	○ 5-0	7	2	1	0	10	1	+9	1
阿蘇北	△ 1-1	☆ 6-0	○ 2-0	○ 2-0	7	2	1	0	9	1	+8	2
南関	● 0-4	● 0-6	☆ 2-0	○ 2-0	3	1	0	2	2	10	-8	3
米野岳	● 0-5	● 0-2	● 0-2	☆ 1-1	0	0	0	3	0	9	-9	4

Cグループ：鏡中G

	大津	京陵	八代二	網田	勝点	勝	分	敗	得点	失点	得失点差	順位
大津	☆	○ 4-2	○ 2-0	○ 2-0	9	3	0	0	8	2	+6	1
京陵	● 2-4	☆ 1-1	△ 4-1	○ 4-1	4	1	1	1	7	6	+1	2
八代二	● 0-2	△ 1-1	☆ 0-0	△ 0-0	2	0	2	1	1	3	-2	3
網田	● 0-2	● 1-4	△ 0-0	☆ 1-1	1	0	1	2	1	6	-5	4

Dグループ：稻川G

	小川	玉名	人吉一	錦ヶ丘	勝点	勝	分	敗	得点	失点	得失点差	順位
小川	☆	○ 3-1	○ 2-1	○ 3-1	9	3	0	0	8	3	+5	1
玉名	● 1-3	☆ 1-0	○ 1-0	○ 1-0	6	2	0	1	3	3	±0	2
人吉一	● 1-2	● 0-1	☆ 2-2	△ 2-2	1	0	1	2	3	5	-2	3
錦ヶ丘	● 1-3	● 0-1	△ 2-2	☆ 1-1	1	0	1	2	3	6	-3	4



シュートするルートル中



攻めるルートル中



インターバルに汗を流す一级の方々

平成19年2月4日(日)
に熊本県益城町人工芝
グラウンドにて九州管
内一級審判員他20名が
参加して行われた。
ターバル走が行われた。
ターバル走は、6回計測
が行われ、6秒40の基
準を2回クリアできな
ければ失格。
インター走は20
m走にかわり、今回行
われたFIFA方式を
採用することになつて
いる。
日本協会の審判委員
立ち会いのもと、ほぼ
全員が無事にクリアす
ることが出来た。

2007年
シーズン開始前
一級審判員体力テスト

第38回 熊本県少年サッカー選手権大会 熊本ユナイテッドSCU-12 初優勝

この大会には各地区を勝ち抜いた代表及び、熊日学童でベスト4に入った計36チームが出場し戦った。

準決勝第1試合は、アクア対シヤルム。前半は2対1で折り返したが、後半に3点を取つてアクアが勝利。

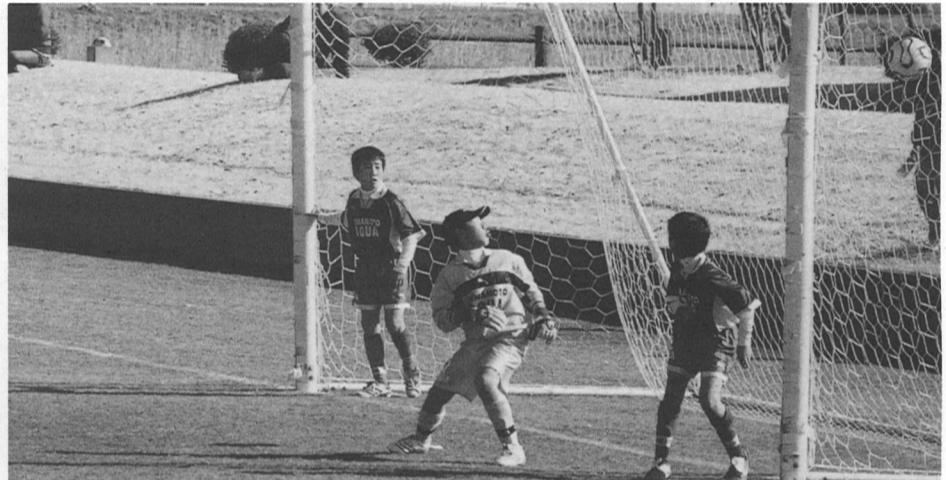
第2試合はユナイテッド対バレイアでユナイテッド1対0で勝利し決勝に進出した。

決勝はアクア対ユナイテッド。前半はアクアが主導権を握り、富永のヘディング、山室のシュートで2対0で折り返した。

この大会には各地区を勝ち抜いた代表及び、熊日学童でベスト4に入った計36チームが出場し戦つた。



攻めるユナイテッドチーム赤 青はアクア



5点目を入れるユナイテッド

第28回 熊本県少年サッカー新人大会 熊本ユナイテッドSCU-12 昨年に続き優勝

この大会には各支部を勝ち抜いた代表36チームが熱戦を繰り広げた。

大会3日目で勝ち残ったのは、黒石団地FCジユニア、御船FCアンジエリコ、豊川FC、熊本ユナイテッドSCU-12の4チーム。

準決勝第一試合は、御船対豊川。豊川ペースでゲームが進められ、3対0で豊川が勝ち上がった。

準決勝第二試合は、黒石団地対ユナイテッド。ユナイテッドが5対0で勝利する。

決勝はユナイテッド対豊川。

前半10分、ユナイテッドが1点を先制し、ハーフタイムを迎えた。



守るユナイテッドSC



赤はユナイテッドSC 白・黒タテ縞は豊川



汗を流すC級コーチ



あいさつする池内氏

平成18年度の公認C級コーチ指導者研修会（リフレッシュ研修会）は、平成18年1月20日（土）に熊本市水前寺競技場で日本サッカー協会（トレセンスタッフ）の池内豊氏を

迎え、熊本県サッカーアクセス技術員会の主催のもとで行われる。今回の取得できるボイントは5ポイントであるが、多数の受講者は熱心に講義と実技に取り組んだ。

平成18年度公認C級「リフレッシュ研修会」
(財)日本サッカー協会より
池内 豊氏を迎えて

第13回 熊本県女子さわやかサッカー大会 MELSA熊本ボニータ 2度目の優勝

メルサの優勝は2度
目となり栄冠を手にし
た。

準決勝の勝者はナルサヒルネサンスになり共に決勝戦に進んだ。

ド、スクデット対築山
菊陽中部対清水の各試合が行われる。
この試合はフレンドシップの試合のため対戦成績は省略する。

BコートではAコートに残らない5試合が行われた。

ドで行われた。
2月12日(月) 祭日
にはAコートでは4
チームが勝ち残り西里
サンス、3位決定戦後

第13回熊本県女子ユニアサッカー選手権大会は平成19年2月4日（日）12日（月）祭日の日に菊池郡菊陽町



ゴールキーパー横を通過



ルーズボールを競りあう両選手 水色はメルサ 赤はルネッサンス



待望の1点 Vゴール勝利



喜ぶメルサの父兄達



(8)	(7)	(6)	(5)	(4)	(3)	(2)	(1)
F S N A R U	S o i B i a n c a	F U K U E I J A P A N					
d i a m a n t e							
九州	東海	大					
F • C • M o r a l i s t a							
熊本	熊本	FC	熊本	FC	熊本	FC	熊本
フットサル	クラブ	サル	クラブ	サル	サル	サル	サル
勝点	勝点	勝点	勝点	勝点	勝点	勝点	勝点
0	3	6	9	12	15	18	21

第10回熊本県フットサルリーグ(FSL)は1月14日を持って最終節を迎えた、結果は次の通りである。

熊本県フットサルリーグ (FSL) 終る